

学 校 だ よ り

平成28年2月1日



2月号

NO. 323

横浜市立茅ヶ崎小学校  
校長 岩本 悦子

## 第2回 都筑・ボツワナ交流児童画展

一年でもっとも寒さが厳しいころとなりましたが、仲町台駅に向かう遊歩道では梅の花が満開です。

さて、昨年度に引き続き本校の3年生は、都筑区アフリカ交流事業「第2回都筑・ボツワナ交流児童画展」に参加しています。今年度はテーマ別に絵を描きました。これらの絵は、約13,600km離れているボツワナ共和国のベン・テマ小学校で9月に展示されました。その絵を見たベン・テマ小学校の3年生が絵を描き、再び13,600kmの距離を移動し、ベン・テマ小学校と茅ヶ崎小学校の3年生の絵は、つづきMYプラザ、JICA横浜、都筑区役所1F区民ホールを巡回し、1月20日～25日まで本校にて展示されました。私自身、ベン・テマ小学校の子どもたちの絵を楽しみにしていました。サッカーや縄跳びをしている絵は両校の子どもが描いていました。ベン・テマ小学校の校外学習で子どもたちの2mぐらい後ろをワニが歩いている写真を見たとき、びっくりしました。



また、26年度にベン・テマ小学校と交流したことをまとめた生活文が、「文集62 よこはま3年」に掲載されました。現在の4年生の作文です。ベン・テマ小学校との絵画交流を通して学んだことを、素直な感性で表現している素敵な作文です。

### 「みんなにここボツワナ」「文集62 よこはま3年」より

みなさん、ボツワナという国を知っていますか。その国は、アフリカの南の方にあります。わたしの通う学校、茅ヶ崎小学校の3年生は、ボツワナとの交流学習をしました。わたしは、交流学習を通して、心にのこったことが三つあります。

一つめは、ボツワナのりょう理を知ることができたことです。ボツワナには「パニ」という虫をりょう理したものがあります。わたしは、このりょう理を知ったとき、「食べるのがこわいな。」思いました。でも、「ボツワナでは、日本でごはんを食べているのと同じことなんだな。」と思いました。

二つめは、ダンスを見ることができたことです。ボツワナのダンサーたちが学校の体育館に来てくれました。そこでダンスをひろうしてくれました。そのダンサーたちと3年生のみんなが、いっしょにボツワナのダンスをおどりました。みんな、楽しそうでした。えがおでおどっていました。

三つめです。これは、ボツワナの言葉やあいさつは、なんと女の人と男の人に言う言葉が分かれていたことです。わたしは「男の人と女の人に言う言い方が分かれるのは日本とちがうな。」と思いました。

わたしが、ボツワナでしてみたいことは、ボツワナにある小学校の図書室の本を読むことです。なぜかという、ボツワナの子どもたちは図書室が大好きだということを知ったからです。行ってみたいです。

わたしは、さいしょはボツワナという国さえも知りませんでした。でも、交流学習を通して、「きっと、みんながにここしているすてきな国なんだな。」と思うようになりました。

「都筑・ボツワナ交流児童画展」を通して、本校の子どもたちが、遠く離れているボツワナの子どもたちの生活や思いを知り、文化・言語や習慣の違いを認め合ったり、共通点を発見し合ったりすることによって、異文化を尊重しようとする態度が育まれています。また、この活動を通して、茅ヶ崎のまちや日本の文化・習慣のすばらしさを自然に感じる事ができました。

このような企画を主催して下さったつづき MY プラザ、都筑区役所そして、後援、協力・協賛くださいました在京ボツワナ共和国大使館、在ボツワナ日本国大使館、JICA、日本通運株式会社航空事業支店の皆様に感謝いたします。

異文化を豊かな感性で受け止めて成長している子どもたちの姿を知り、両校の担任や校長を始め、関係諸機関の皆様方が笑顔になった活動でした。